

# 一般社団法人日本 LD 学会 第 31 回大会（京都）のご案内

テーマ: 子ども達の Well-Being を育む -こころ、からだ、まなび-  
会 期: 2022 年 10 月 29 日(土) ~30 日(日)  
会 場: 国立京都国際会館 (<https://www.icckyo.or.jp/>) + Web  
U R L: <https://confit.atlas.jp/jald31st>



第 31 回大会(京都)の開催にあたって  
子ども達の Well-Being を育む -こころ、からだ、まなび-

第 31 回大会会長  
相澤 雅文(京都教育大学 総合教育臨床センター)

新型コロナウイルスによる影響で出口の見えない状況ではございますが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。日本 LD 学会第 31 回大会（京都）のメインテーマを「子ども達の Well-Being を育む -こころ、からだ、まなび-」といたしました。

2020 年度から新型コロナウイルスの全世界規模の感染拡大があり、日本においても、幼児児童生徒の通園・通学ができない状況や学校行事の延期・縮小など、学校を含めた生活の文脈が崩壊した中で暮らしてまいりました。そうした中で OECD を始めとして、国内の様々な機関からも子ども達の Well-Being（ウェルビーイング）を育む取り組みが強く求められております。

Well-Being は近年よく耳にする言葉ですが、決して新しい概念ではありません。1948 年に発足した世界保健機関（WHO）憲章の前文では、「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態（Well-Being）にあることをいいます（日本 WHO 協会訳）」とされています。

子どもたちの健やかな成長発達を願わない社会はないと考えます。日本の子どもたちは、先進国の中で幸福度や自己肯定感が低いこと、当事者意識の低いことが発達の側面の課題として挙げられています。これからの未来の予測がつかないといわれる世の中で、Well-Being を視座として子ども達の豊かな発達を考えていくことは大切なことと考えています。「こころ」の側面、「からだ」の側面、そして「まなび」の側面、多様な側面からの子ども達のより良い成長のありかたを共有できる会にして行けたらと思います。

大会の開催にあたりましては、ハイブリッド形式での開催を進めております。多くの皆様にご参加いただき、新たな学びや指針が得られる大会となりますよう、大会委員一同、運営に尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## お問い合わせ先

### ○参加申込・発表申込について

一般社団法人日本 LD 学会大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター(株)国際文献社内

URL: <https://www.jald.or.jp>

E-mail: [jald-desk@conf.bunken.co.jp](mailto:jald-desk@conf.bunken.co.jp)

### ○発表原稿の提出について

一般社団法人日本 LD 学会 第 31 回大会(京都)運営事務局(インターグループ内)

〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-20-1 インターグループビル

Tel: 06-6372-3052(平日 10:00~17:00)

E-mail: [jald31st@intergroup.co.jp](mailto:jald31st@intergroup.co.jp)

## (1) 特別講演

1. 霊長類の中のヒト  
山極壽一（総合地球環境学研究所所長、第26代京都大学総長）
2. 子どものWell-BeingとResilience  
榑原洋一（CRN所長、お茶の水女子大学名誉教授、ベネッセ教育総合研究所常任顧問）

## (2) 教育講演

1. 差別解消法のこれまでと今後  
平林ルミ（学びプラネット合同会社 代表社員・東京大学大学院教育学研究科附属  
バリアフリー教育開発研究センター 研究員）  
崔栄繁（認定NPO法人 DPI 日本会議 議長補佐）  
飯野由里子（東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター  
特任助教）
2. 頑張れない子どもたちへの支援～安心の土台と伴走者  
宮口幸治（立命館大学 教授）
3. 読み書き障害に対するICTの活用  
近藤武夫（東京大学先端科学技術研究センター 准教授）
4. 愛着障害と発達障害の理解と支援  
米澤好史（和歌山大学 教授）
5. 震災と発達障害の支援  
内山登紀夫（大正大学 教授）
6. 発達障害のある子どもの保護者への支援  
本田秀夫（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授・  
信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部）
7. 発達障害のある人の就労支援  
梅永雄二（早稲田大学 教授）
8. 日本版WISC-Vの誕生 ―知能アセスメントのさらなる発展―  
大六一志（公認心理師）

## (3) 大会企画シンポジウム

1. 特別支援教育のこれまでとこれから（仮）
2. 特別支援教育における新たな学びのスタイル-Well-BeingとICTの活用-（仮）
3. トウレット症の理解に向けて（仮）
4. Well-Beingの視点から見た教育・医療・福祉のこれから（仮）
5. 発達障害のある人の就労移行支援（仮）
6. 高等学校の特別支援教育（仮）
7. K式発達検査2020の理解と活用（仮）

## (4) その他

理事長講演、大会会長講演、受賞者講演、国際委員会企画講演、国際委員会企画ラウンドテーブル、学会企画シンポジウム、研究委員会企画シンポジウム、LD-SKAIP委員会シンポジウム、研究委員会企画シンポジウム、自主シンポジウム、ポスター発表、全国LD親の会企画シンポジウム ほか  
※都合により演題・内容が変更になる場合がございます。  
※詳細は、大会ホームページ(随時更新)にてご確認ください。

## II. 実施形式について

- ・ 本大会は会場＋Web のハイブリッド形式にて開催を予定しております。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によりますが、出来る限り現地来場が出来るように準備を進めております。
- ・ 予算の関係上、全てのプログラムがハイブリッドにはならず、一部プログラムが現地のみ、あるいは Web のみとなる場合がございます。詳細については決定次第大会ホームページにて公開いたします。

## III. 発表申し込みについて

### (1) 発表形式

#### 1. 自主シンポジウム(申込上限:77 本程度)

会員の自主運営によるシンポジウム(90 分)です。テーマの設定は自由です。採択された場合、後日、企画開催費(13,000 円)をお支払いいただきます。

#### 2. ポスター発表

発表内容をポスター形式で掲示し、在席時間(40 分程度)を設けて、発表者と参加者との間で自由に討論していただきます。採択された場合、後日、研究発表費(5,000 円)をお支払いいただきます。

### (2) 発表の資格・条件

1. 自主シンポジウム企画者ならびにポスター発表筆頭者は、申込時および大会開催時に、本会の「正会員」もしくは「名誉会員」の方に限ります。自主シンポジウムの司会者・話題提供者・指定討論者、ポスター連名発表者は会員に限定しませんが、大会参加費の事前納入が必要です。
2. 自主シンポジウムは企画者が、ポスター発表は筆頭者がお申し込みください。申し込みは 1 人各 1 題に限ります。
3. シンポジウム等への登壇(司会者・話題提供者・指定討論者)や、ポスター発表(筆頭者)は、原則として 1 人 3 回までとします。
4. 自主シンポジウム、ポスターともに現地発表のみを予定しております。

### (3) 申し込み手続き

#### 1. 申し込み方法

会員専用マイページの「大会／研修会情報・申込」よりお申し込みください。

#### 2. 発表原稿の提出方法

原稿の提出は、インターネットからのオンライン登録に限ります。発表申し込みが完了すると、登録 URL を記載したメールが配信されます。

※ ホームページに、「個人情報・倫理についてのチェックリスト」を掲載します。チェックリストをご確認の上、原稿を作成してください。

※ オンラインフォームにテキストを入力してください。図表の掲載はできません。フォームに入力いただいた内容で発表原稿を作成しますので、入力内容に誤りがないようご注意ください。

#### 3. 申し込み・原稿提出期間

2022 年 4 月 1 日(金)～5 月 10 日(火)

※ 自主シンポジウムの申し込みは先着順に受け付け、上限に達し次第、締め切ります。

※ 期限までに原稿の提出がなされなかった場合は、申し込みを取り消します。

※ 提出された原稿は、実行委員会にて審査し、6 月末日までに審査結果をお知らせします。

※ 発表日時は実行委員会にご一任ください。

## IV. 参加申し込みについて

### (1) 事前申し込み

#### 1. 申し込み方法

- ・ 会 員:会員専用マイページの「大会／研修会情報・申込」よりお手続きください。
- ・ 非会員:大会ホームページの申し込みフォームよりお手続きください。

#### 2. 申し込み期間

2022 年 4 月 1 日(金)～8 月 31 日(水)

#### 3. 参加費等の諸費用の納入期限

2022 年 9 月 9 日(金)

※ 諸費用の納入をもって申し込み完了となります。期限までに納入がなされなかった場合は、申し込みを取り消します。

4. 領収書

諸費用を納入後、会員の方はマイページから、非会員の方は申し込みフォームから、ご自身で発行してください。大会終了後は発行できませんのでご注意ください。

5. 参加証

諸費用を納入後、会員の方はマイページから、非会員の方は申し込みフォームから、ご自身で発行・印刷し、当日必ずご持参ください。

(2) 当日申し込み

当日、会場にてお申し込みいただき、参加費等の諸費用をお支払いください。

申し込み方法等の詳細は、後日大会ホームページにてご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては当日申込を行わない場合がございます。

参加登録は事前申込を推奨いたします。

(3) 各プログラムの予約について

参加の事前申し込みが完了された方を対象に、各プログラムの予約を行う予定です(2022年9月中旬)。詳細は、メールおよびホームページにてお知らせします。

※ 当日参加については、各プログラムに空きがある場合のみ参加可能です。

※ プログラム予約した方であっても、当日の開始時刻までにお越しいただかない場合は自動的にキャンセル扱いとなりますのでご注意ください。

## V. 諸費用

- ・ 納入いただいた大会参加費等の諸費用は返金いたしません。
- ・ ご不明な点がございましたら、お手続きの前に学会事務局にお問い合わせください。

費目		事前	当日	
参加費 ※1	会員	一般	9,000 円	10,000 円
		大学院生	4,000 円	5,000 円
	非会員	一般	10,000 円	11,000 円
		大学院生	5,000 円	6,000 円
		学部生	4,000 円	5,000 円
		親の会	5,000 円	6,000 円
自主シンポジウム 企画開催費 ※2		13,000 円	-	
ポスター発表 研究発表費 ※2		5,000 円	-	

※1. ポスター発表の筆頭発表者・連名発表者、自主シンポジウムの企画者・司会者・話題提供者・指定討論者は、必ず事前に納入してください。

※2. 採択された場合、企画者・筆頭発表者にお支払いいただきます。

※本大会では交流会はございません。

## VI. プログラム・論文集

プログラム冊子の印刷・発送は行いません。大会ホームページでの閲覧のみとします。

会員および参加の事前申し込みが完了された非会員の方には、2022年9月下旬までに、論文集の閲覧に必要なパスワードをご連絡します。

## VII. その他

(1) 展示会

関連書籍・機器等の展示・販売を予定しています。

(2) 託児室

会場内に、託児室を設置します。申し込み方法等は、大会ホームページにてご確認ください。

(3) 合理的配慮

障害等により大会参加に関して配慮の必要な方は、2022年9月9日(金)までに、学会事務局にご連絡ください。

(4) 宿泊の手配

観光シーズンで観光客の宿泊利用が多く想定されるため、早期に宿泊をご手配される事をおすすめいたします。